

INSTITUTE OF SOCIOLOGICAL RESEARCH DAITO BUNKA UNIVERSITY  
大東文化大学社会学研究所所報

No. 5 2024年3月

目 次

所長巻頭言 所長 野嶋 剛	1
2023年度社会学研究所活動報告	2
マンガ・ビジュアル研究会 活動報告	3
自転車とツーリズム・まちづくり研究会 活動報告	4
醸造文化と地域振興研究会 活動報告	5
研究員の活動報告	7
研究所寄贈本	15
研究員紹介	16

## 2年目にできたことと今後の課題

社会学研究所所長 野嶋 剛

今年は所長として2年目を迎え、1年目に見つけた改善のための課題をいかに実行していくのかが問われる一年となった。研究所として発足してまだ日が浅いため、さまざまな課題があるが、そのなかで、大きな目標として、研究所を社会学部の外に開かれた組織とし、研究部員である教員の方々の知見を外部に発信していくかに取り組むことが最も重要であるとの認識に立った取り組みが始まった。

皮切りになったのが7月8日の実施したシンポジウム「日常と非日常の自転車活用」である。研究所の研究グループである「自転車とツーリズム・まちづくり研究会」は2022年に発足し、メンバーも10名を数えるほどに成長したため、さらなる発展のきっかけとしたい願いを込めた開催となり、日本政府の自転車行政を統括する立場でサイクリストでもある国土交通省自転車活用推進本部参事官（当時）の金籠史彦氏と自転車評論家として長年活躍してきた疋田智氏の両氏を講師に迎えた。

「マンガ・ビジュアル研究会」では外部講師を招いた勉強会を12月に開催し、多くの学生が参加した。

「醸造文化と地域振興研究会」は青森の酒造会社に対する現地研修を7月に実施し、10月には教員中心の勉強会も行って活発な議論が生まれた。

自転車、アニメ・マンガ、酒造という人々にとっても身近なテーマを現代社会の諸課題と結びつけて研究する三つの研究会を軸とした活動を研究所の中身としながら、研究所活動を来年度以降もより中身のある充実したものにしていくことが望ましいと考えている。

## 2023年度 社会学研究所活動報告

### 運営委員会

- 2023年3月 28日 第1回運営委員会（オンライン会議）
- 6月 4日 第2回運営委員会（メール会議）
- 7月 8日 第3回運営委員会（メール会議）
- 8月 4日 第4回運営委員会（メール会議）
- 8月 27日 第5回運営委員会（メール会議）
- 12月 22日 第6回運営委員会（メール会議）
- 2024年3月 4日 第7回運営委員会（メール会議）

### 勉強会

2023年10月19日

テーマ『日本酒醸造文化と地域振興、「青森酒蔵コラボレーションAQEプロジェクトに関するヒアリング調査」を中心に』

講師：醸造文化と地域振興研究会メンバー

2023年12月14日

テーマ「関東大震災と現代漫画の萌芽」

講師：漫画研究者・元川崎市市民ミュージアム学芸員

### シンポジウム

2023年7月8日 13:30~16:00

「日常と非日常の自転車活用」

登壇者：自転車活用推進本部事務局次長 金籠史彦氏

TBS プロデューサー・自転車評論家 疋田智氏

### ランチミーティング

- 2023年5月11日 第一回ランチミーティング 講師：佐藤勇一先生
- 6月15日 第二回ランチミーティング 講師：神部恭久先生
- 10月 5日 第三回ランチミーティング 講師：小野田竜一先生

### 研究部会

- 2023年 4月 15日 第1回研究部会
- 2024年 3月 7日 第2回研究部会

### 刊行物

2024年3月 『社会学研究所紀要』（第5号）、『社会学研究所所報』（No.5）発行

## 2023年（1月—12月）のマンガ・ビジュアル研究会 活動報告

### <研究会 Zoom ミーティング>

- ・2023年5月25日（木）15：00—16：00
  1. 新規メンバー紹介
  2. 社会学特殊講義II運営について
  3. 地域連携センター講座（おとなのマンガ講座）について
  4. 科研費申請について
  5. 社会学研究所勉強会講師について

### <メールミーティング>

- ・2023年7月7日（金）～
  - ・科研費申請用 研究内容記入・締切について
- ・2023年7月13日（木）～
  - ・科研費計画書打ち合わせについて

### <その他>

1. 2023年度社会学特殊講義II：特別講座開催
  - ・2023年7月8日（土）2限 板橋校舎 参加者 56名（教職員・学生・外部）
  - ・ゲスト 夏目房之介先生（漫画コラムニスト・元学習院大学大学院人文科学研究科教授）  
テーマ「漫画概念の史的展開」
2. 2023年9月5日（火） 科研費申請「まんがにおけるダイバシティ表象：LGBTQ+を含む国際比較」
3. 2023年度社会学研究所勉強会
  - ・2023年12月14日（木）3限 板橋校舎 参加者 20名（教員・学生）
  - ・ゲスト 新美琢真氏（漫画研究者・元川崎市市民ミュージアム学芸員）  
テーマ「関東大震災と現代漫画の萌芽」
4. 社会学特殊講義II実施
  - ・担当講師：スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋剛、塚本正文、小野田竜一、井島由佳・ゲスト講師

### ■マンガ・ビジュアル研究会メンバー（敬称略）

スチュワート・ロナルド・ジェフリー、野嶋剛、川野幸男、ダレン・マクドナルド  
佐藤勇一、神部恭久、井島由佳

## 2023年（1月-12月）の自転車とツーリズム・まちづくり研究会 活動報告

- 2023年3月 9日 研究会ミーティングで共同研究などを議論  
3月13日 板橋キャンパス→浦和の実走検証（メンバー7名参加）  
5月11日 研究会ミーティングで共同研究などを議論  
7月 8日 「日常と非日常の自転車活用」をテーマにシンポジウム開催

### ■自転車とツーリズム・まちづくり研究会メンバー（敬称略）

鶴田佳史、塚本正文、飯塚裕介、阿部英之助、表 昭浩、八木原大、小湊浩二  
小野田竜一、神部恭久、野嶋 剛

## 2023年（1月-12月）の酒造文化と地域振興研究会 活動報告

本報告書は、2023年度の「醸造文化と地域振興に関する実態調査研究」プロジェクトの活動（2024年1月31日未現在）の概要を記したものである。

以下にあるように、研究会4回、実態調査の実施1回、実態調査に関する成果報告を社会学研究所主催の勉強会での発表1回を行った他、研究成果として本学HPにて実態調査の活動報告1編を公表、同調査を踏まえた成果物として研究ノート（『社会学研究所紀要』）1編を執筆・投稿した。

### ◇第1回研究会

日時	2023年4月12日（水）15：30～17：30
場所	板橋校舎3号館5階 社会学研究所
参加者	中村年春、山田敏之、野嶋剛、塚本正文、植野一芳
報告・検討事項	1. 研究用図書の配置について 2. 今年度の研究計画の検討 ①伝統的な醸造技術、醸造文化等に関する文献・調査研究の実施 ②醸造品の製造及び品質、価格、流通、輸出その他評価に関する文献・調査研究の実施 ③各地の醸造蔵への取材、見学など実地調査の実施

### ◇第2回研究会

日時	2023年6月5日（月）15：30～17：00
場所	板橋校舎3号館5階 社会学研究所
参加者	中村、山田、野嶋、塚本、植野
報告・検討事項	1. 調査の実施日程およびヒアリング調査事項の検討・確認 2. 今後の研究推進（後期に社会学研究所で研究中間発表等）

### ◇第1回実態調査

実施日	2023年6月26日（月）・27日（火）
実施地	青森県八戸市、十和田市、弘前市、大鰐町、青森市内の日本酒醸造所および酒類小売店
参加者	中村、山田、塚本、植野

### ◇活動報告の公表

2023年8月3日に、研究成果として本学HPにて第1回実態調査の活動報告を公表

[https://www.daito.ac.jp/research/laboratory/sociology/publication/activity/details\\_15\\_40267.html](https://www.daito.ac.jp/research/laboratory/sociology/publication/activity/details_15_40267.html)

### ◇第3回研究会

- 日時 2023年8月7日(月) 15:30~17:00  
場所 東武練馬「仁」  
参加者 中村、山田、塚本、植野  
報告・検討事項 1. 社会学研究所主催の勉強会(実態調査報告会)に向けた報告内容等の確認・検討

### ◇社会学研究所主催の勉強会(第1回実態調査に関する成果報告)

- 日時 2023年10月19日(木) 15:00~16:30  
場所 板橋校舎3号館5階 ワークスペース1  
報告者 植野(中村、山田、野嶋、塚本)  
報告テーマ 「日本酒醸造文化と地域振興-『青森酒蔵コラボレーションAQEプロジェクトに関するヒアリング調査』を中心に-」  
参加者 社会学研究所研究員の学部専任教員(一部を除く)および経営学研究科大学院生

### ◇『社会学研究所紀要』へ<研究ノート>投稿(2024年1月9日)

### ◇第4回研究会

- 日時 2024年1月22日(月) 18:00~20:30  
場所 東武練馬「仁」  
参加者 中村、野嶋、塚本、植野  
報告・検討事項 1. 昨年末に社会学研究所紀要へ投稿した<研究ノート>に関する意見交換  
2. 「大東」ブランドのラベルでの酒類販売について  
3. 今年度第2回実態調査実施についての検討  
4. 2024年度実態調査実施計画の検討  
上記3.および4.の調査候補の酒造所等  
三重県伊賀市・森喜酒造「るみこの酒」  
熊本県人吉市・高橋酒造  
佐賀県嬉野市・五町田酒造「東一」  
東京都港区・東京港醸造(省スペース酒造技術)  
東京都八王子市・舞姫東京オフィス(本社は長野県諏訪市)

### ■酒造文化と地域振興研究会メンバー(敬称略)

野嶋剛、塚本正文、中村年春、山田敏之、植野一芳

# 研究員の活動報告

阿部 英之助

## 【論文】

阿部英之助・原健司・林萬太郎「高校総合学科の現状とその果たしてきた役割」『民主教育研究所年報』第22号,p10-43,2023.

阿部英之助「総合学科の30年と総合学科の今後」全国農業教育研究会『会報』,No.298,p1-2, 2023年7・8月号,2023.

阿部英之助,「技術・職業教育」『日本の民主教育2022』大月書店,p148-150,p152-153,2023.

阿部英之助「地域をつくる×深くまなぶ」『広報かわじま』川島町,Vol.762,2023年10月号,2023.

## 【報告】

阿部英之助「農業後継者教育機関が果たしてきた役割とその現状」、日本職業教育学会・第4回全国大会（旧・日本産業教育学会・通算第64回）2023年10月8日（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

一盛真,阿部英之助,山本宏樹,未定整基,佐久間裕斗,前川菜穂,和泉直樹「社会教育主事講習（2科目）事例報告<大東文化大学>」中央教育審議会生涯学習分科会社会教育人材部会・事例報告,2023年6月28日（会場：文部科学省・オンライン報告）

## 【講演】

比企地区連合社会教育委員会「地域住民と行政・学生が一体となった地域づくり」（埼玉県東松山市）2023年5月25日

## 【活動報告】

チャレンジ！！オープンガバナンス2022・セミファイナルリスト「スマートアプリを再活用した利用しやすいやさしい地域公共交通」（山形県鶴岡市・大東文化大学社会学部・阿部ゼミ地域公共交通チーム）（2023年3月5日・オンライン発表）

藤島歴史公園「Hisu花」活用ワークショップ ファシリテーター（6月21日、7月28日・10月27日・オンライン参加。7月28日、9月6日のみ対面参加。）（山形県鶴岡市）

## 【メディア掲載】

大東文化大学 『CROSSING FOR RESEARCH』VOL.01  
「藤島の魅力アップへ」（荘内日報 2023年3月1日）

## 井島 由佳

### 【学術論文】

井島由佳『大学生の結婚観と性役割認識についての基礎的研究—BLを読む者と読まない者の視点—』,社会学研究所紀要 4 卷,pp103-108,2023

井島由佳『(報告) ゴールデンカムイ展 & 鬼滅の刃 京ノ御仕事参 in 京都』,社会学研究所紀要 4 卷,pp109-117,2023

### 【その他】

井島由佳『ETHICS for YOUTH』 2023-24年冬号 (No.4) 「アニメの主人公に学ぶブレイクの法則」, (冊子12月1日発行、WEB版12月15日)

井島由佳『『鬼滅の刃』流強い自分のつくり方』,中国伍簡体字版 (北京新東方大愚文化伝播有限公司),2023年

## 植野 一芳

### 【研究会報告】

植野一芳「日本酒醸造文化と地域振興-『青森酒蔵コラボレーション AQE プロジェクトに関するヒアリング調査』を中心に-」大東文化大学社会学研究所,2023年10月19日

### 【ワーキングペーパー】

松原聡・植野一芳・藤井大輔・齊藤由里恵・福田怜生「酒類規制の研究-ビール系飲料の課税と需要構造の検討を中心に-」『東洋大学経済学部ワーキングペーパー集』No.40,pp.1-16,2023

## 小野田 竜一

### 【学術論文 (査読なし)】

小野田竜一「間接互惠状況における感情に駆られた利他主義者のシグナル」『大東文化大学社会学研究所紀要』第4巻, pp. 73-88, 2023

### 【学会発表・研究会発表】

小野田竜一「社会的ジレンマを解決に導く罰行動が引き起こす集団間の代理的報復行動」仁科研究会 (オンライン) 2023年2月16日

小野田竜一「社会的ジレンマの罰行使者に対する集団間代理報復」日本社会心理学会第64回大会 (上智大学) 2023年9月7,8日.

小野田竜一「実験的手法で明らかにしたいこと～研究的野望と直近の研究プロジェクトについて～」大東文化大学社会学研究所第3回ランチタイム・ミーティング (大東文化大学)



2023年10月5日.

小野田竜一「間接互惠状況における感情的な非合理的利他主義者の評判」 日本人間行動進化学会第16回大会(大阪公立大学) 2023年12月2,3日.

表 昭浩

【学術論文】

Omote, A., How Might Specific Language Impairment (SLI) and Sensorineural Hearing Loss (SNH) Shape Children's Learning to Read and Spell? 『大東文化大学紀要』 第 61 号, pp. 23-34, 2023 年 3 月.

表 昭浩「AI時代の日本人英語教師に求められる日本語：中高の教師が翻訳・生成 AI に対抗するにはどうしたらいいのか」, 『日本教育工学会第 43 回講演論文集』, pp. 243-244, 2023 年 9 月.

【発表論文集】

Omote, A. Non-AI, Non-NS Japanese of the English Teacher in Japan: Exploring Instructional Speech in the English Classroom, *Asia TEFL Conference 2023 at Korea Abstract Booklet*, p.399. 2023 年 8 月.

【学術発表】

Omote, A. Non-AI, Non-NS Japanese of the English Teacher in Japan: Exploring Instructional Speech in the English Classroom, *Asia TEFL Conference 2023 at Korea, Daejeon*, 2023 年 8 月.

表 昭浩「AI時代の日本人英語教師に求められる日本語：中高の教師が翻訳・生成 AI に対抗するにはどうしたらいいのか」, 日本教育工学会第 43 回一般研究発表, 京都, 2023 年 9 月.

【講演】

表 昭浩「私たちの脳と社会のお話：私たちは社会とどのように繋がっているの?」, 明秀学園 日立高等学校 出張模擬授業, 日立市, 2023 年 11 月

香川 めい

【日本語雑誌論文】

香川めい「ウィズ・コロナの学校生活はどのように構築されたのか——学校行事に注目して」 『社会学評論』 74(2), pp.246-261, 2023.

【英語雑誌論文】

Honda, Yuki, Osamu Koyama, Mei Kagawa, "A New Indicator for Scrutinising Learning Outcomes in Higher Education: Developing Discipline-specific Items for Students' Self-evaluation and Examining Their Validity," *Center for Advanced School Education and Evidence-Based Research Graduate School of Education The University of Tokyo Research Bulletin* 8, pp.258-278, 2023.

【学会発表】

Kagawa, Mei, Fumiya Uchikoshi, "Educational Interruptions and Transition to Adulthood: Evidence from Japan", RC28 Summer Meeting, Michigan, USA (University of Michigan), August 14-17, 2023.

香川めい 「若年期のキャリア履歴と恋愛、結婚経験——回顧調査「家族に関する振り返り調査」の分析 (5)」第96回日本社会学会大会 (立正大学 (東京)) 2023年10月8日

上地 宏一

【日本語論文】

上地宏一「ファイル共有サービスを利用したプログラミング教育支援システムの開発」『大東文化大学社会学研究所紀要』, 第4号, pp.47-58, 2023.

【事典項目執筆】

上地宏一「第9章 漢字とコンピュータ: 「高橋」さんと「高橋」さん」『漢字文化事典』, 日本漢字学会編, 丸善出版, pp.416-417, 2023.

佐藤 勇一

【和書 (共著)】

佐藤勇一「視覚の狂気とイカロスの眼差し—メルロ＝ポンティ、ビュシ＝グリュクスマン、マーティン・ジェイにおける視覚体制と間文化性」加國尚志・亀井大輔編『視覚と間文化性』法政大学出版局, pp.203-224, 2023.

【ワークショップ パネリスト発表】

佐藤勇一「メルロ＝ポンティ哲学におけるマルローの領域横断的影響」日本フランス語フランス文学会 2023 年度秋季大会「ワークショップ: アンドレ・マルローの現在性—論集刊行とその後—」(九州大学伊都キャンパス イースト 1 号館 A-117 教室)2023年10月29日.

【書評】

佐藤勇一「書評川崎唯史『メルロ＝ポンティの倫理学—誕生・自由・責任』ナカニシヤ出版、二〇二二年」関西倫理学会編『倫理学研究』, 第53号, pp.168-172, 2023.

【その他 (オープンキャンパス体験授業)】

佐藤勇一「政治的身体: 哲学の歴史を見るひとつの視点の紹介」2023年度オープンキャンパス体験授業 (大東文化大学東松山キャンパス) 2023年7月23日.

【論文】

神部恭久『ディレクターとテクノロジー』放送メディア研究, NHK 放送文化研究所,  
No.17, pp.53-72, 2024.

【シンポジウム登壇】

フリーランスサミット2023基調講演企画「フリーランスと共に切り開く新産業論〜  
クールジャパンのエンジンはフリーランスだ!〜」2023年5月19日

【講演】

NHK デジタルセンター「ベネチア映画祭におけるイマーシブな作品の現況とその可  
能性について」2023年9月29日

【体験授業】

神部恭久 「生成 AI の台頭でメディアと社会はどう変わるのか」大東文化大学東松  
山校舎、オープンキャンパス2023年8月11日

【活動報告】

学生サークル PARTIDA 顧問として、福島県白河市でのフィールドワーク  
白河市まちラボ学生プロジェクト支援事業 8月17日から23日

スチュワート・ロナルド

【論文（日本語）】

スチュワート R 「教育ツールとしてのマンガ」『環境創造』, 第30号, pp.1-13, 2023.

【学会発表】

Stewart, R., “Exploring Japan's Manga Landscape”, Virtual Panel (via ZOOM): The World of Manga in Japan:  
Social, Cultural, and Historical Significance’, *SouthWest Conference on Asian Studies (SWCAS)*  
(University of Houston, Houston, USA), Nov 4, 2023.

【その他】

(招待公演)

スチュワート R 「『はだしのゲン』はなぜ禁止されるのか？」特定非営利活動法人うぐいすりぼ  
ん開催 ZOOM ウェビナー, 2023年3月18日.

(展示会翻訳)

スチュワート R (キャプションと背景ニュースの翻訳)「共同通信配信 第17回しおどめ発 世相漫画展」、新橋、汐留メディアタワー3階ギャラリーウオークで、9月30日～10月31日。

**塚本 正文**

**【論文】**

塚本正文「富山県の自転車観光政策とその評価」『環境創造』, 30, pp15-27, 2023.

**鶴田 佳史**

**【講演等】**

鶴田佳史「受賞者講評」eco 検定アワード 2023 表彰式 (東京商工会議所), 2023年11月17日。

**中野 紀和**

**【論文】**

中野紀和「災害と暮らし」『新修小松市史通史編Ⅱ』小松市 2023年3月, pp.692-724.

**【その他】**

中野紀和 書誌紹介『想像する身体 (上) 身体イメージの変容』『想像する身体 (下) 身体の未来へ』(2022年 安井真奈美、ローレンス;・マルソー編、臨川書店)『日本民俗学』315, p.92、2023年8月

中野紀和「大学祭は時代を移す鏡ー半世紀前の大東祭にみる熱狂と無関心ー」『大東文化歴史資料館ニューズレターエクス・オリエンテ』vol.34, 2023年7月

中野紀和 「足下から立ち上げる問題意識ー『長野県民俗の会通信』にみる倉石忠彦先生ー」現在学研究会『現在学研究』第12号, pp.164-169, 2023年10月

**野嶋 剛**

**【論文】**

野嶋剛「台湾のシェアサイクルはなぜ成長を続けるのか: 「YouBike」拡大における行政と事業者の関係構築に対する考察」大東文化大学社会学研究所紀要.3号.2023

**【和書】**

野嶋剛『日本の台湾人 故郷を失ったタイワニーズの物語』筑摩書房, 2023.

野嶋剛『台湾の本音 隣国、を基礎から理解する』光文社, 2023.

**【発表】**

野嶋剛「『桃園神社』をめぐる1985年の保存キャンペーンのプロセス」日本台湾学会,名古屋  
立大学,2023年

**【講演】**

野嶋剛『香港、台湾、そして中国から見る東アジアの21世紀』大阪大学,5月29日  
野嶋剛『なぜ今、自転車なのか』シンポジウム「日常と非日常の自転車活用」大東  
文化大学,2023年7月8日

**飯塚 裕介**

**【学会発表】**

飯塚裕介「浸水想定区域内の住民の防災意識に関するアンケート調査 その3 住民が洪水か  
ら避難しない・できない理由」日本建築学会大会学術講演会@京都大学,2023年9月13日.

**【シンポジウム】**

自転車とツーリズム・まちづくり研究会キックオフシンポジウム「日常と非日常の自転車活用」  
司会及びパネルディスカッションのモデレーター, 2023年7月8日.

**【講演】**

飯塚裕介「防災教育マトリクスにおける学習内容・目標の進展」『防災教育の進化・体系化を  
めざして一発段階に応じた教育目標の明確化一』日本建築学会防災教育 WG 研究懇談会  
@京都大学,2023年9月12日.

**【コラム】**

飯塚裕介「高島平から災害時の食を考える」『高島平学:高島平を思考する地の知』,第9号,掲  
載予定.

**【防災教育ツール】**

飯塚裕介および社会学演習 I 防災教育チーム「避難タイムライントランプ水害編」,2024年1月.

**【社会活動】**

高島平駅周辺 XR 体験イベント企画開発及び学生チーム統括,板橋区サウンドアトラクション  
&AR 謎解きゲーム『ふたつの世界が交差する AR 謎解きゲーム~少女と絵本とキオクの町  
~』,開催期間:2023年10月27日(金)~2024年2月18日(日).

高島平駅周辺 XR 体験イベント・シニア向けガイドツアーの企画実施,会場:徳丸ヶ原公園内  
集会所,開催日:2023年11月30日および同年12月7日.

ブース出展「防災を学ぼう」,高島平地域イベント『#平暮らしキャラバン』にオリジナル防災

ワークショップや防災ぬり絵、災害時に役立つライフハックの実演等を出展、会場：都立赤塚公園、開催日2023年9月30日。

ブース出展「防災を学ぼう」、『高島平まつり』にオリジナル防災教育ゲームや防災ぬり絵等を  
出展、会場：旧高島第七小学校校庭・中庭等、開催日：2023年10月29日。

#### 【その他】

アーバンデザインセンター高島平(UDCTak)ディレクター

板橋区老朽建築物等対策協議会 委員

日本建築学会防災教育 WG 委員

高島平学編集委員会 委員

八木原 大

#### 【翻訳和書】

Surrey & McDaniel,1985=2023, 八木原大訳『租税支出』文眞堂。

山口みどり

#### 【和書】

山口みどり・中野嘉子編著『憧れの感情史——アジアの近代と<新しい女性>』作品社, 2023.

山口みどり・弓削尚子・後藤絵美・長志珠絵・石川照子編著『論点・ジェンダー史学』ミネル  
ヴァ, 2023.

岡真理・後藤絵美・長沢栄治編著『記憶と記録にみる女性たちと百年』(分担執筆：歴史のプ  
リズム5「異教徒への伝道を夢見て」) 明石書店, 2023.

#### 【学会発表】

山口みどり「『帝国の教会』と女性宣教師——『ミッションボックス』が探る支援の形」大東  
文化大学100周年記念シンポジウム1「『帝国』を再考する——コンタクトゾーンの文化  
とジェンダー」(大東文化大学) 2023年2月25日。

#### 【その他】

山口みどり「ジェンダー史研究の道を求めて——留学よもやま話」(埼玉 YMCA 川越センター)  
2023年1月28日。

山口みどり・弓削尚子・後藤絵美・長志珠絵・石川照子「『論点・ジェンダー史学』が生まれ  
るまで」ジェンダーで歴史を読み解こう！『論点・ジェンダー史学』刊行記念トークイベ  
ント(紀伊國屋書店新宿本店3階アカデミック・ラウンジ) 2023年7月7日。

武蔵大学2022年度「学生が選ぶベストティーチャー賞」2023年3月11日。

	寄贈本	寄贈者
1	加國尚志・亀井大輔 編 視覚と間文化性 法政大学出版局 2023年	佐藤勇一
2	八木原大 訳 スタンリー・S.サリー&パウル・R.マクダニエル 著 租税支出 文真堂 2023年	八木原大
3	麻生豊 著 誕生百周年記念復刻版 ノンキナトウサン 夜鳥文庫 2023年	新美琢真

## 研究員紹介

**所長** 野嶋 剛  
**部会長** 鶴田佳史  
**専任研究員** 阿部英之助 井島由佳 植野一芳 小野田竜一 表昭浩 香川めい  
川野幸男 上地宏一 小湊浩二 塚本正文 佐藤勇一 神部恭久  
スチュワート・ロナルド・ジェフリー 鶴田佳史 豊泉周治 中野紀和  
野嶋 剛 飯塚裕介 八木原大 山口みどり  
**兼任研究員** 近藤 和都  
**兼任研究員** 土岐 寛 中村年春 山田敏之

### 大東文化大学社会学研究所所報 No.5

2024年3月31日発行

編集発行・印刷 ©大東文化大学社会学研究所

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1

Tel:(03)5399-7394